

西南学院広報誌

あか  
れん  
が

# 赤煉瓦通信

～一粒の麦から～

2015  
Vol.  
〔創刊号〕

わが西南学院

〔創刊号特集〕創刊に寄せて |



西南学院



## 西南学院創立100周年記念式典

2016年5月14日(土)

2016年の西南学院創立100周年記念式典について、以下のとおり開催に向け準備を進めています。

詳細は、ホームページを通じて随時お知らせしております。

△ 入場無料  
〔招待者〕

### 記念式典・講演会

13:30～(開場12:30～) 福岡国際会議場

◎記念式典：①未来宣言 ②建学の精神の継承と実行宣誓

◎講演会：講師/中村 哲氏 [医師、ベシャワール会現地代表、ピースジャパン・メディカルサービス(PMS)総院長・中学校卒業]

△ 有料  
〔共通チケット〕  
5,000円  
(税込)

### 合同同窓会総会

16:30～(開場16:00～)

マリンメッセ福岡 3階サブアリーナ

※記念式典・講演会終了後、中学校、高等学校、大学の  
同窓会総会を合同で開催します。

15:00～  
マリンメッセ福岡 2階海のモール

展示・イベントゾーンを設けていますので、  
ごゆっくりお楽しみください。

△ 記念祝賀会

### 記念祝賀会

18:00～(開場17:00～/終了20:30予定) マリンメッセ福岡 1階メインアリーナ

### 記念祝賀会テーマ『集え西南 愛と自由をたずさえて』

オール西南の出演者で100周年記念祝賀会を盛り上げます

#### 在校生、同窓生によるステージアトラクション

- ◆西南学院高等学校：吹奏楽部、合唱部
- ◆西南学院大学：応援指導部吹奏楽団、応援指導部チアリーダー、チャペルクワイア、フラウエン・コール、グリークラブ
- ◆同 窓 生：西南学院ゴスペルクワイア

#### 西南学院ゆかりのスペシャルゲストも出演予定

※プログラムは変更になる場合がございます。

[本件についてのお問い合わせ]

100周年事業推進室 Tel.092-823-3186

E-mail / sw100th@seinan-gakuin.jp

検索

学校法人 西南学院 <http://www.seinan-gakuin.jp>

西南学院大学／西南学院中学校・高等学校／西南学院小学校  
西南学院舞鶴幼稚園／西南学院早緑子供の園(保育所)

西南学院広報誌  
赤煉瓦通信 ～一粒の麦から～  
2015年10月30日発行(年1回発行)  
学校法人西南学院 総務部 広報課  
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92  
TEL.092-823-3248

西南学院

# 院長コラム 学院の心。

「赤煉瓦通信」一粒の麦から」の創刊号をご覧いただき、心からお礼申し上げます。この「赤煉瓦通信」一粒の麦から」は学院の広報誌として年に一回発行いたします。学院全体の今をお知らせしてまいりますので、どうぞ期待ください。

さて、創刊号では、「学院の心」に触れたいと思います。西南学院の「心」とは何でしょうか。西南学院の「心」は、創立者であるC.K.ドージャー先生の遺言であり、学院の建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」という言葉に表されています。西南学院では、その精神を伝教の精神に触れ理解を深めていけるよう、礼拝や聖書、チャペルの時間を設けています。

また、建学の精神に基づき他者を思いやる心を育てるために、年齢や成長の段階に合わせてキリスト教に沿った教育を行っています。保育所、幼稚園では、自分自身を大切に思い、人間形成の基礎となる心を育てる保育を行っています。小学校では、仲間意識を育む児童期に、友達と助け合い共に学び合いながら成長するための教育を、また、中学校・高等学校では、視野を広げ、平和なより良い社会を創り出す人材になるための基礎づくり

となる教育を行っています。さらに大学では、地の塙、世の光として地域社会、国際社会に貢献する創造的な人材を育成するための教育を行っています。

西南学院は、厳しい指導や知識偏重の教育を行うのではなく、園児、児童、生徒、学生一人ひとりの成長を大切にし、西南学院での生活が豊かで実りあるものとなるよう、個々と向き合うことを基本としています。すべての園児、児童、生徒、学生が西南学院で過ごした時間の中で育んだ、自分の心を支え、社会を支える源となる強く優しい心を携えて巣立つて欲しいと願っています。

どうぞ今後とも、「学院の心」を理解いたださご協力賜りますよう、お願い申し上げます。



西南学院院長・理事長  
G.W.パークレー



## 西南学院広報誌 赤煉瓦通信

～一粒の麦から～

Vol.1 創刊号 2015

### INDEX

院長コラム	1
[特集]創刊に寄せて—わが西南学院	2
学院メモリアル	9
学びの現場から	10
[特集2]西南学院小学校校長インタビュー	11
西南学院概要	13
SEINAN TOPICS	15
学院のフィールド	19
西南学院オリジナルグッズ	20
西南学院からのお知らせ	21

表紙の写真:C.K.ドージャー

1879(明治12)年、アメリカのジョージア州ラ・グレインジュの町に生まれた西南学院。学院広報誌創刊に寄せて、学院ゆかりの人々に、いとおしい園児、生徒、学生時代の思い出を振り返つていただきました。



西南学院

## 西南学院大学卒業生としての誇りを胸に。

はじめに、西南学院広報誌の発刊に際し、心からお祝い申し上げます。来年、西南学院は創立100周年を迎えます。”オール西南”で結束しようという中、保育所・幼稚園から大学・大学院まで、各学校・園・保育所すべてが名を連ねる広報誌が発行されることは、私もかねてより望んでいたことで、たいへん嬉しく思います。

私が西南学院大学を卒業して58年の歳月が流れました。高度成長期の当時は、今の時代とは異なり、私立大学より国立大学が優先されるという風潮があつた時代です。私は卒業後、銀行に就職しましたが、同僚は国立大学出身も多く、ちょっとした「コンプレックスを感じていました。しかし、私が32歳で支店長、41歳で取締役に就任するなど、若くして重要なポストを任せられたのは、そのコンプレックスが負けん気を生み、誰よりも頑張ることができたからだと思います。もちろん、西南学院大学卒業生としての誇りも常ありました。

それから時代は変わり、卒業生も増え、様々な所で活躍の場が与えられています。私が大学の同窓会会長をしていた頃、当時学長だったバークレー院長・理事長と、北海道から沖縄まで約80箇所の同窓会支部をまわつたことがあります。

その際に、全国各地で世のため人のために力を注いでいる卒業生の多さに驚きました。西南学院の100年の歴史・伝統で培われた質の高い教育から、多くの優秀な人材が生まれたといえるでしょう。

私が社会に出て、さまざまな選択に迫られた時、西南学院大学時代に養われたキリスト教精神に基づく倫理観のおかげで、正しい道を歩むことができました。西南学院大学で学んで良かったと、心から思っています。後輩の皆さんも、ゆるぎない西南のプライドを持つて、これから的人生を力強く歩まれることを願っています。



福岡シティ銀行（現西日本シティ銀行）代表取締役副頭取時代の一枚。西南学院大学卒という誇りを胸に仕事に邁進した中さん。



1935年生まれ。西南学院大学時代は、学業、部活動（卓球部）、アルバイトと、充実した4年間を過ごす。卒業後、株式会社福岡相互銀行（現（株）西日本シティ銀行）入行。30代で各地の支店長を経て41歳で取締役就任。1987年に代表取締役専務、1993年に代表取締役副頭取に就任。その後、1999年、株式会社九州リースサービス代表取締役社長を経て、現在、西部日本エンタープライズ株式会社相談役。

## 中脩治郎さん

●西南学院同窓会連合会会長、元福岡シティ銀行・代表取締役副頭取  
1957年・西南学院大学商学部商学科卒業  
1984年・西南学院高等学校卒業  
1989年・西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業

## 木村匡也さん

●ナレーター  
木村 匡也

や

1984年・西南学院高等学校卒業  
1989年・西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業



1965年生まれ。西南学院高等学校、西南学院大学卒業後、上京。フリーのナレーターおよびディスクジョッキーとして活躍中。これまでのテレビにおける主なナレーションは、「進め!電波少年」「どっちの料理ショー」「めちゃ×2イケてる!」「クイズ\$ミリオネア」「ポケモン放送局」など。

西南学院高等学校に入学した時、私はそれまで通っていた地元の中学校とのギャップにとても驚きました。学校にチャペルがあることや外国人の先生が教えてくれること、あるいは大変な資産家の息子が何人もいることなど、私にとってはどれも見たことのない世界でした。私は勉強が嫌いな生徒で、先生にも学校にもよく迷惑をかけていました。そんな私でもチャペルの時間だけはなぜか大好きでした。聖書を読むこと、

讀美歌を歌うこと、講話を聞くこと、どれも新鮮な体験で、チャペルの時間だけは一回寝たことがありません。不思議ですね（笑）。学業の方は3年間でよく卒業できただなと思うような生徒でしたが、先生方は大変可愛がっていました。

西南学院高校には個性が強くて面白い先生がたくさんいて、私もいろいろな影響を受けました。マッカーサー杯英語コンテストで優勝された豊田佳日子先生の生きは我らの誇りでした。内海敬三先生の

讀美歌を歌うこと、講話を聞くこと、どれも新鮮な体験で、チャペルの時間だけは一回寝たことがありません。不思議ですね（笑）。学業の方は3年間でよく卒業できただなと思うような生徒でしたが、先生方は大変可愛がっていました。

西南学院高校には個性が強くて面白い先生がたくさんいて、私もいろいろな影響を受けました。マッカーサー杯英語コンテストで優勝された豊田佳日子先生の

讀美歌を歌うこと、講話を聞くこと、どれも新鮮な体験で、チャペルの時間だけは一回寝たことがありません。不思議ですね（笑）。学業の方は3年間でよく卒業できただなと思うような生徒でしたが、先生方は大変可愛がっていました。

西南学院高校には個性が強くて面白い先生がたくさんいて、私もいろいろな影響を受けました。マッカーサー杯英語コンテストで優勝された豊田佳日子先生の

讀美歌を歌うこと、講話を聞くこと、どれも新鮮な体験で、チャペルの時間だけは一回寝たことがありません。不思議ですね（笑）。学業の方は3年間でよく卒業できただなと思うような生徒でしたが、先生方は大変可愛がっていました。

西南学院高校には個性が強くて面白い先生がたくさんいて、私もいろいろな影響を受けました。マッカーサー杯英語コンテストで優勝された豊田佳日子先生の

讀美歌を歌うこと、講話を聞くこと、どれも新鮮な体験で、チャペルの時間だけは一回寝たことがありません。不思議ですね（笑）。学業の方は3年間でよく卒業できただなと思うような生徒でしたが、先生方は大変可愛がっていました。

西南学院高校には個性が強くて面白い先生がたくさんいて、私もいろいろな影響を受けました。マッカーサー杯英語コンテストで優勝された豊田佳日子先生の

私の兄が通っていたこともあります。自然と西南学院中学校に入学しました。今から50年以上前になりますが、当時の校舎は海が近く、松林に囲まれた、素朴な環境の中にありました。クラスは3年間同じで、同級生同士の結びつきが強かったですを覚えています。入学当初は聖書の人

## 小学校で道徳心を学ぶことは大切なこと。

2010年に西南学院が小学校を開校すると聞いた時は、たいへん嬉しく思いました。

私は仕事柄、世界各国の都市を訪れる機会があります。そこで感じるのは、世界の一流都市の条件は、歴史と独自の文化があること、国際空港を有していること、そして、一流の教育機関を擁していることです。特に、歴史ある一流のプライベートスクールの存在は、重要なことに思っていました。福岡の地に100年の歴史をもつ西南学院の小学校が誕生したことは、本当に素晴らしいことです。

小学校は、子どもたちが大きく成長する場です。人間としての心を養う大切な時期に、どれだけ物事の機微に触れ、人と接していくのかが大切です。西南学

院小学校は、キリスト教教育を通じて大切なことを教えてくれます。それは、感謝すること、他者を気遣うこと、正直であることであり、道徳心を学ぶことができます。

私は、中学から大学までの10年間を西南学院で過ごしました。中学ではテニスや剣道をしながら歴史に目覚めて全国の史跡を巡る一人旅をしていました。高校では登山に熱中し、その後、公認会計士を目指して大学に進みました。西南学院は生徒の夢に寛大で、自由に過ごせたことに感謝しています。

子どもの日常の教育に大きな影響を与えます。私は、初代後援会会长として、西南学院の良き校風と教育方針を、西南学院に初めて接する保護者の方々にお伝えしてきました。娘は卒業し、西南学院中学校へ進学しましたが、学校と家庭が一緒に教育を行う今の形は、学校・保護者双方の努力の賜物です。良き伝統として、受け継いでほしいです。小学校をはじめ西南学院で学ぶみなさんには、西南学院で学ぶことに誇りを持ち、夢を抱き、勉強やスポーツに、そして友だちと遊ぶことに熱中してほしいと思います。



1959年生まれ。1983年、監査法人トーマツ入所。海外で長く活躍し、1995年に米国ヒューストン市から名譽市民の称号を贈呈される。2005年・監査法人トーマツ代表社員就任、2010年・トーマツベンチャーサポート(株)代表取締役就任。2013年・監査法人トーマツ・執行役、西日本エリア統括就任。現在、世界最大の監査・コンサルティング会社であるデロイドトーマツの日本のパートナー・執行役として、資源エネルギーインダストリーのリーダーとして国内外で活躍中。

## 磯俣克平さん

●西南学院小学校・初代後援会会长  
公認会計士／米国公認会計士  
いそ また かつ ぱい

1974年・西南学院中学校卒業  
1977年・西南学院高等学校卒業  
1981年・西南学院大学商学部商学科卒業

## 人生の道しるべになつた3年間でした。

私の兄が通っていたこともあり、自然と西南学院中学校に入学しました。今から50年以上前になりますが、当時の校舎は海が近く、松林に囲まれた、素朴な環境の中にありました。クラスは3年間同じで、同級生同士の結びつきが強かつたのを覚えています。入学当初は聖書の

分厚さに驚きましたが、1日に読む章を決めて読み進めていました。チャペルでの礼拝についても、最初は少し戸惑いましたが、徐々に馴染んできました。また、アメリカ人教師の姿を通じ、国や人種などで偏見を持つてはいけないということを学びました。今考えると、3年



1946年生まれ。九州大学医学部卒業後、国内の病院勤務を経て、1984年、NGOの医師としてパキスタン北部のペシャワールに赴任。以来、パキスタンとアフガニスタンで医療活動と水源確保事業を続ける。2003年、アジアのノーベル賞とも呼ばれるラモン・マグサイ賞の他、数々の賞を受賞。著書多数。「ペシャワール会」は中村さんの活動を支援する目的で結成された国際NGO団体で、会員は約1万3千人。

## 中村哲さん

1962年・西南学院中学校卒業

●ペシャワール会現地代表、PMS(平和医療団・日本)総院長

なか

むら

てつ

間にわたるキリスト教教育から、自分自身の道徳観や倫理観が自然と養われたように思います。

NGOの医師としてパキスタンに赴任してから30年を越える歳月が流れました。ここまで情熱を持ち続けていたのは、私には”困っている人を放つておくことができない”という思いが強くあります。この考えは、3年間の中学生時代にほぼ毎日チャペルで聞いていましたことと同じです。いつからなのかはっきりと意識はしていませんが、私の心の中にはキリスト教の精神がしっかりと根付いています。

西南学院は来年、創立100周年を迎えます。今こそ建学の精神を大切にして欲しいと思います。西南学院が西南学院たる理由、それは即ちキリスト教教育の学校であるということです。西南学院が何を伝えるために生まれた学校であることを改めて記念すべき創立100周年を機に、しっかりと胸に刻んでおくこと必要ではないでしょうか。

混沌としたこの時代、「平和であることの意義」が大きなテーマになっています。西南学院には、平和の意義を、聖書の言葉で世の中に伝えることができる力を持っていると信じています。



西南学院高校時代は山岳部に所属。写真は、北アルプスの夏合宿で先輩たちと。右が磯俣さん。

の園は、あの時と変わらず、私を迎えてくれました。

私は三人兄弟の長男で、兄弟全員、早緑子供の園に通いました。家が少し遠かつたので、両親が車で送り迎えしてくれたことを覚えています。末の妹はまだ在園中でしたが、急遽、父の仕事の関係で東京へ引っ越しすることになりました。私が小学生の時です。その後、訪れる機会もなく、約20年の歳月が流れました。そんな中、4年ほど前にたまたま福岡に行く機会がありました。その時、自分でもなぜだかわかりませんが、「早緑に行つてみよう」と思い立ったのです。

「ともなりくん？」と声を掛けてくれたのは、当時私がお世話になつた藤丸先生と土田先生です。約20年振りの再会にもかかわらず、私の名前を覚えていただいていることに、大変驚きました。久し

の優しさや温かさを感じ、人への思いやりや人を助ける喜びを教わったのです。



山崎臨在さん

# 山崎臨品右 やまざき るいひんう

仕  
さん

人への思いやり、人を助ける喜びを教わった。

人と接して社会に貢献したい、人助けをしたいという思いから、弁護士になります。した。忙しい日々を過ごしていますが、兄弟の基礎になつていることは間違ありません。これからも早緑で学んだこと、先生方から教わったことを糧に、感謝と希望を持つて生きていきたいと思います。



古が在園時の山崎さん(年長児)。院長訪問の際に立ち寄った大学6号館(当時)「のびっこ会」活動室にて。



1979年7月6日生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒。大学在学中の2000年に、ミュージカル「エリザベート」の皇太子ルドルフ役で鮮烈なデビューを果たす。以降、その高い歌唱力と存在感で数々のミュージカルや舞台を中心に活躍。井上ひさしの遺作となった「組曲虐殺」では、主役の小林多喜二を演じる等、積極的にストレートプレイにも挑戦している。一方で、CD制作、コンサート等の音楽活動も意欲的にを行い、近年ではテレビ・映画等映像にも活動の幅を広げ俳優として高い評価を得る。第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞（演劇部門）他多数受賞。



舞鶴幼稚園時代、聖歌隊で賛歌を歌っている時の一枚(前中央)。当時の幼稚園の先生方は今でも交流があり、井上さんのミュージカルをよく観に来くれるとのこと。

幼稚園で歌つた賛美歌が私の原点  
舞鶴幼稚園に通つていた頃の思い出  
は、どろんこ遊びをしたり、竹馬遊びを  
したり、屋外で思う存分遊んだことで  
す。のびのびとした環境で育ててもらひ  
ました。卒園式  
今でもそれら  
とをうれしく  
誕劇では聖歌

ました。卒園して30年ほど経ちますが、今でもそれらの遊びが行われていることをうれしく思います。クリスマスの誕劇では聖歌隊として賛美歌を歌う機

会がありました。歌うことが好きだつた私ですが、人前で歌うのはその時が初めてで、みんなからとても褒められたことを覚えています。現在、俳優として活動していますが、人前のデビューは舞鶴幼稚園が最初ですね。いわば、自分の中での原点でした。

西南学院高等学校時代に本格的に歌のレッスンを始めたのですが、先生方は私のことをとても理解してくださいり、歌の道を目指すために選択した大学への進学の際も、力強いサポートをしていました。高校時代も賛美歌を歌う機会があり、自由な校風も含めて、西南学院の雰囲気は、私に合っていました。

幼稚園、高校とお世話になつた西南学院ですが、私の父は現在、舞鶴幼稚園の園長であり西南学院大学人間科学部の教授をしています。先祖を遡ると、祖父、曾祖父も西南学院に関わりがあつたようで、四代にわたつて縁があるわが家は、西南学院とともにあつたといえます。

西南学院全体の広報誌が来年100周年を迎えるこの良い機会に創刊されたことを、心から嬉しく思います。今後、母校はますます新しいことにチャレンジすると思いますが、私も人に感動を与えるされる歌手、俳優であり続けるために惜しまず努力を続けたいと思います。

いのうえよしお  
井上芳雄さん

# 井上芳

会がありました。歌うことが好きだつた私ですが、人前で歌うのはその時が初めてで、みんなからとても褒められたことを覚えています。現在、俳優として活動していますが、人前でのデビューは舞鶴幼稚園が最初ですね。いわば、自分の中での原点でした。

幼稚園、高校とお世話になつた西南学院ですが、私の父は現在、舞鶴幼稚園の園長であり西南学院大学人間科学部の教授をしています。先祖を遡ると、祖父、曾祖父も西南学院に関わりがあつたようで、四代にわたつて縁があるわが家は、西南学院とともにあつたといえます。

## 学びの現場から



## 学びの現場から①

## 震災忘れない募金

西南学院中学校

西南学院中学校・宗教主任(教諭)

みやざき むねちか

宮崎 宗親

東日本大震災の被災地に義援金を届けるための募金、それが「震災忘れない募金」です。震災が起った3日後には募金活動を行うことを決めていました。最初は校内での募金活動でしたが、その後、街头募金として行うことになりました。

この活動は私たち教員が指導したものではありません。震災直後に行動を起こした高校生に呼応し、生徒たちが自発的に始めたものです。生徒たちは、日ごろか



毎年約70人の生徒が参加。街頭で大きな声を出し、懇意に募金を呼びかけている。

ラチャペルの時間や終礼を通じて、聖書の教えに触っています。また、西南学院中学校・高等学校では、平和教育・人権教育を重視しています。この教育の根底には、「共に生きる」という考えがあります。これらの教えが「困っている人を助けて」「という思いにつながり、生徒たちが行動したのだと思います。

震災直後は「震災募金」という名称だった募金も、震災を風化させてはならないという思いで、2年目から「震災忘れない募金」となりました。来年で6年になります。毎年3月中旬に西新・藤崎周辺で活動を行っていますが、地域の方々もたいへん好意的で、生徒たちの活動を応援してくれています。

歳月を経ることに、震災の悲惨さは人々の心から忘れ去られてしまいます。生徒の自主性を尊重しつつ、毎年、継続してこの募金活動を行っていきたいと考えています。

今年度で47回目を迎えた「光組合宿保育」。

今年も7月中旬に、光組(年長児)55人が

2泊3日で福岡県朝倉郡夜須高原青少年の家に行きました。舞鶴幼稚園では日頃から外遊びを重視しており、現地では、草スキー、虫採り、森の中での探検散策、川遊び、キャンプファイヤーなどを行いました。出発当日の朝には不安でドキドキしていました子も、キャンプ場につければ次々にある

楽しい遊びと活動に心躍らせていました。

行く前は不安に感じていた子も、自然の中で楽しむうちにみんな笑顔になる。



## 学びの現場から②

## 光組合宿保育

西南学院舞鶴幼稚園

西南学院舞鶴幼稚園・教諭

はたなか たえ

畠中 妙子



行く前は不安に感じていた子も、自然の中で楽しむうちにみんな笑顔になる。

気で楽しんでいく中で、気がつけば不安は解消してしまうようです。

合宿保育の教育目標は二つあります。一つは、子どもたちが自然の中で心を開放し、自然に対して興味・関心を持つことです。もう一つは、仲間意識を高め、自分で考え行動する力を養うことです。合宿3日目の朝になると、子どもたちの顔つきが変わります。

すっきりとリラックスしていながらも、たくましくなり、見ただけで成長がうかがえます。子ども本人にとって、親元を離れて2泊

したという事実が大きな自信となっているようです。また、3日間で、同じ仲間としての絆も確実に深まっているのが分かります。

参加した全員にとってかけがえのない思い出となっている合宿保育。これからも、熱

中症や大きなケガなどが無いよう十分に配慮しながら、子どもたちの“生きる力”を育む教育の一環として、続けていきたい

GAKUIN MEMORIAL  
学院メモリアル

◎福岡市中央区赤坂1丁目(読売新聞西部本社ビル敷地内)

地下鉄・赤坂駅から西に約150m。福岡城址のお堀の向いに読売新聞西部本社ビルがあります。この場所こそが西南学院発祥の地で、現在は明治通りに面した歩道脇に記念碑が建てられています。記念碑には当時の校舎および西南学院創立者C.K.ドーディヤーの写真とともに、次のような学院創立の由来が記されています。

「西南学院の創立者C.K.ドーディヤーは、福岡県での私立学校教育の必

要性を訴え、1916(大正5)年4月、在日本サン・バブテスト宣教師社団が所有していた福岡バブテスト神学校校舎跡に、私立西南学院(中学部)を開校しました。当時の地番は福岡市大名町105番地。男子生徒104人、教師9人でのスタートでした。1918(大正7)年1月西南学院は、福岡市新町(現在地)の土地を購入、念願の新校舎を建設、移転しました。」

開校が決まるときドーディヤーは入学者募集のために、大量のチラシと大きなポスターを県内すべての小学校に送付し、各小学校の校長のもとへ個別に訪問して西南学院の教育方針を説明したり、地元の新聞社に広告を出す一方、関係者を招いて西南学院のPRを行うなど情熱を注いでいます。この記念碑の前に佇むと、生涯をかけて西南学院を思い、キリストに忠実に生きた創立者の100年前の情熱と苦労が偲ばれます。

## 〈西南学院発祥の地〉記念碑

## [教育理念] 真理を探求し、平和を創り出す人間の育成



—設立から6年、子どもたちはどのように成長しましたか。  
子どもたちが育んだ良き伝統

学校設立から6年  
—設立から6年、子どもたちは  
どのように成長しましたか。  
これからも保護者の方々にご協力いただきながら、教職員が一体となってより良い学校作りを推進していきたいと考えています。



平和な未来へと羽ばたく、  
大きな翼を育むことができる小学校を目指して。



和佐野 健吾  
西南学院小学校 校長

約420人の児童が学ぶ西南学院小学校は、今年で設立6年目を迎えました。西南学院小学校のこれまでを振り返りながら、現在の教育内容や今後の教育方針について、和佐野健吾校長にお話を伺いました。

—あらためて、西南学院小学校の特色をお聞かせください。  
西南学院小学校は、キリスト教を根幹として、聖書の教えに基づき教育を行っている学校です。

6年前に開校する際、子どもたちをどのように育てるのかを考えたとき、聖書の語る4つのキリスト教的的理念である「平和」「生命尊重」「人類愛」「自由」を元に、これらすべてを含めた考え方として、

キリスト教に基づく教育で  
他者を愛し、  
知恵を身に付ける  
多彩なサポートと活動

—子どもたちを成長させる  
具体的な取り組みを教えてください。  
まず、毎日15分ずつの「礼拝」で自己を見つめる時間を作り、「カウンセリング」では心のケアを行っています。ともに子どもたちの心の成長を促すための大切な取り組みです。  
それから、「外国語活動」です。これは他

—教育目標を達成するための  
先を見据えた教育で  
輝かしい未来へ  
—これからどのような教育を進めていくお考えですか。  
小学校で学んだことが、小学校だけでは終わるのではなく、中学校・高等学校とながっていく教育にしたいと考えています。例えば礼拝ひとつにしてもそうです。低学年の子どもたちは、元気があり余って声が大きすぎることもあります。しかし、上級生が場の雰囲気とマナーをわざまえた態度をとれることで、下級生は上級生から学び、非常に静かな中で礼拝を行えるようになります。先生たちが「静かにしなさい」と言わなくとも、みんな私語を慎んで、本当によく



# 1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。

保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて保育、教育を行っています。



**大学院** GRADUATE SCHOOL  
1971年設置。8研究科9専攻。学生数約160人。  
優れた教授陣によって、時代と社会の要請に即応した高度な教育研究を実現しています。

**専攻科** NON-DEGREE GRADUATE COURSES  
学部を卒業し、さらに専門科目の学修を続けたいと志す学生に対して、専攻科を設けています。

**学部** UNDERGRADUATE DEPARTMENTS  
7学部13学科。キリスト教を基盤とした人格教育、国際性豊かな教育、学生と教員の人格的なふれあいを重視する少人数教育、語学教育、情報処理教育の充実が特長。

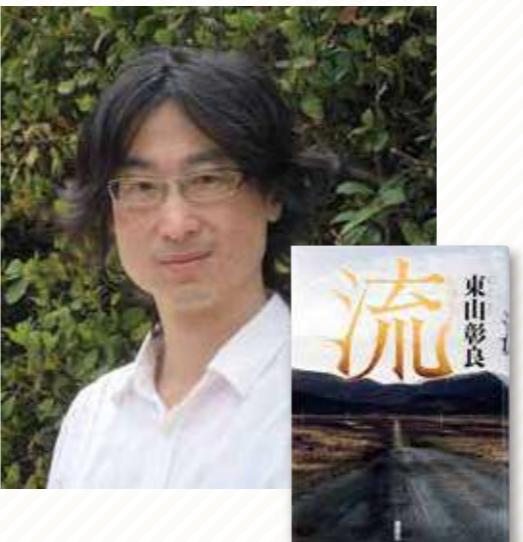
**留学生別科** INTERNATIONAL DIVISION  
19カ国54大学の姉妹校・協定校と学生の相互派遣を行っています。留学生は約9ヶ月間在籍し、日本の言語、政治、経済、文学を学んでいます。

※データは2015年9月末現在

## 卒業生の東山彰良氏の「流」が直木賞受賞！

卒業生の東山彰良さんの著書「流」が第153回直木賞(日本文学振興会主催)を受賞しました。東山さんは1987年に西南学院高等学校卒業、91年に経済学部経済学科卒業、95年に大学院経済学研究科経済学専攻を修了。02年に第1回「このミステリーがすごい」(宝島社主催)大賞の銀賞を受賞し作家デビュー、その後、09年に『路傍』で大蔵春彦賞を受賞し、「このたび、初のノミネートで直木賞を受賞しました。本学卒業生の同賞受賞は、第146回の葉室麟さんと続く二人目の快挙となりました。

K・J・シャフナー学長は、「心からお祝い申し上げます。本学の卒業生が直木賞を受賞した事は、本当に嬉しい事です。特に、西南学院創立100周年を前に続く二人目の快挙となりました。K・J・シャフナー学長は、「心からお祝い申し上げます」とメッセージを贈りました。



## 硬式野球部がリーグ優勝、57年ぶりの全日本大学野球選手権大会(神宮球場)に出場しました！



5月25日、桧原運動公園野球場にて、九州六大学野球春季リーグ優勝決定戦が行われ、硬式野球部が北九州市立大学に6対2のスコアで勝利を收め、見事55年ぶりにリーグ優勝し、57年ぶりに全日本大学野球選手権大会(神宮球場)へ出場いたしました。

主将の八戸さんは、「今年は『神宮への執念』をスローガンに掲げ、練習に取り組んできました。優勝は部員、コーチ、スタッフ、そして応援してくれた皆さんのおかげです」と喜びと感謝の言葉を述べました。また、東監督は「北九州市立大学は強豪であり接戦になると予想されていました。部員には昨夜、最後は気持ちだけ、一球一球に集中することを伝えました。選手達が本当に頑張つてくれました」と、選手達を労いました。

6月8日、明治神宮野球場で行われた第64回全日本大学野球選手権大会では、1回戦で城西国際大学と対戦。当日は、福岡から関係者をはじめ、OBやOG、関東近郊在住の方など、たくさんの方々が応援に駆けつけました。結果は2対3のサヨナラ負けで勝利を收めることはできませんでしたが、選手達は最後まで全力で戦い抜きました。野球部の今後のさらなる活躍が期待されます。

## 2015年度「西南祭」が開催されました。

7月17日・18日の2日間(一般公開は18日のみ)、「西南祭」が開催されました。本年度のメインテーマは「繋ぐ」。学院創立100周年に向けて、縦と横の仲間をつなぎ、そのような仲間とともに「これまでの西南」を「これから西南」につなげていきたい、そのような生徒達の思いが込められています。

一日目には文化講演として、料理研究家の「ウケンテツ」をお招きし、「食を通して人を、世界を繋ぐ」と題してお話ししていただきました。世界各地を旅して学んだ興味深い食文化や食の大切さ、そして食を通して人が繋がることのすばらしさをスライドを交えながら講演いただきました。

二日目は一般公開日でしたが、多くの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。



## 1、2年生が訪豪研修旅行に行つてきました。

高等学校では毎年春と夏の2回、海外研修旅行を行っていますが、今夏は8月1日から13日間、1、2年生25人で訪豪研修旅行に行つてきました。

往路に立ち寄ったタイのバンコクでは、バンコク最古のねん寺院や世界遺産のアユタヤ遺跡を訪問、また市内研修では現地の生活の様子を垣間見ることができました。

オーストラリアではブリスベン郊外のサンシャインコーストでホームステイをし、平日はミューラーカレッジにて語学研修やバディーの授業への参加など実践的な英語の学習ができ、週末はそれぞれの家庭で過ごしてより親睦を深めることができました。

事前研修・本研修を通して異文化体験だけでなく英語を話して意思疎通をするという楽しさや難しさを知ることができ、充実した研修旅行となりました。

## 秋晴れの下で開催された体育大会。



9月19日、2015年度の体育大会が開催されました。今年の体育大会のテーマは「切磋琢磨」。仲間同士、お互いを助け合いながら頑張る大会にしようとすることで決まったテーマです。赤、青、白、緑、黄の5チームに分かれ、それぞれのプログラムで熱戦が繰り広げられましたが、中でも趣向を凝らした応援合戦、1年生、2年生、3年生それぞれが行うマス・ゲーム、生徒全員が参加するプログラム最後のグランドマーチは、今までの練習の成果を発揮する場として、生徒達の一生懸命な姿を見ることができます。

結果は黄チームが優勝し、成績発表で優勝が決まった瞬間は大きな歓声が上がりました。最後に、中根校長から「切磋琢磨して皆が努力し、素晴らしい体育大会となりました。この日の友人の笑顔をいつまでも忘れないように、これからも頑張ってください」という生徒への言葉がありました。

当日は天候に恵まれ、保護者の方々の来場も多く、たいへん盛り上がった体育大会となりました。

## 「ラテン音楽鑑賞会」が開かれました。

9月2日、東京大学教養学部所属楽団「エストウディアンティーナ駒場」(教授1人・学生9人)によるベネズエラ音楽の演奏・講演が行われました。ベネズエラの楽器や独特なリズム(3拍子と2拍子が合わさったホローポや5拍子のメレンゲなど)の説明を聞きながら、全8曲を演奏されました。最後は全生徒が歌や楽器で参加し、「グアヤナ・エス」という曲を歌いました。



結果は黄チームが優勝し、成績発表で優勝が決まりました。この日の友人の笑顔をいつまでも忘れないように、これからも頑張ってください」という生徒への言葉がありました。

当日は天候に恵まれ、保護者の方々の来場も多く、たいへん盛り上がった体育大会となりました。

## 1、2年生児童が「ネイバーキャンプ」に参加。

5月下旬、宗像のグローバルアリーナで、1、2年生の児童139人が参加する1泊2日の「ネイバーキャンプ」を行いました。これは児童が自然に親しみ遊びを工夫して過ごすことや異学年の児童が共同生活することにより、コミュニケーションの能力を養うことの目的としているものです。最初は戸惑っていた児童も、ウォーキンググローバルというゲーム（全員で協力してクイズに答え、キーワードをみつけるという内容）を通して、仲良くなっていました。お風呂も1、2年生が一緒に入り、ベッドの準備も協力して行いました。神様とイエス様のことを考えるさんび集会も行われ、2年生の児童からは「さんび集会は、パッと心が明るくなつた」といった感想が聞かれました。

このキャンプを通して、児童達は他学年の友だちと親睦を深め、協力し合うことの大切さを学ぶことができました。キャンプの後、1年生から手紙をもらった2年生の中には「自分たちがしっかりしなければ」という意識が芽生え、「1年生のお手本になります!」「かっこいい2年生になる!」という声も聞かれました。



## 「ヒストリーツアー」で5年生児童が長崎へ。



毎年行われている「ヒストリーツアー」。今年も、9月中旬に5年生の児童71人で長崎へ行ってきました。

1泊2日のツアーの目的は、隣人愛を育む（グループ活動や宿泊生活を通して集団行動の楽しさを味わうこと）と、知恵を育む（歴史的遺産や国内・海外の文化に触れることで平和を大切にする心を持つことです）。初日に訪れた原爆落下中心碑の前では平和集会を行い、全員で平和への祈りを捧げ、賛美歌を歌いました。その後、4つの班に分かれ、現地の被爆証言者の方のガイドとともに2時間半ほど原爆構成ぐりを行い、最後に原爆資料館を見学しました。2日目は日本二十六聖人殉教地やグラバー園などを巡りました。

被爆証言者の方の言葉に聞き入っていた児童からは、「思つていたより原爆は悲惨なものだと知りました」「平和であることの大切さを感じました」などの感想が聞かれました。歴史を知り、歴史に学ぶ、長崎での「ヒストリーツアー」は、児童一人ひとりが「命の尊さ」「を感じた貴重な体験となりました。

## 「全園どろんこ遊び」で、園児が大はしゃぎ。

5月下旬の3日間、9月上旬の3日間、全園どろんこ遊びを行いました。子ども達は園庭のいたるところで一年中季節に関係なくどろんこ遊びを楽しんでいますが、この期間は特別に年少から年長まで全員で同時にどろんこ遊びに取り組みます。フライパンやなべを使ってどろんこ料理をしたり泥をギュッギュッとしぼつてだんご作りをしたり、ふるいを使つてさらさらの白砂を作つたり。年長になると、大きなスコップを駆使して園庭中に川をこしらえて水を流したり、大きな山や池を作つたりもします。たくさん児童がばしゃばしゃとダイナミックに遊び、全身ドロドロになりながら心を開放して遊んでいます。小さい子は大きい子のダイナミックな遊び方に刺激を受け、大きい子は小さい子の遊びを手伝う姿も見られます。

水と土を混ぜてできるどろんこは、可塑性の非常に高い素材であり、どろんこ遊びはたくさんの方を育ててくれる遊びでもあります。子ども達はみんな楽しみながら遊びに取り組んでいます。



## 田んぼグリーンフィールドの田んぼで、代掻きと田植え。

6月の2日間、西南学院田んぼグリーンフィールドの野球グラウンド横にある田んぼで、年長の子ども達がみんなで代掻きと田植えの仕事に取り組みました。代掻きは田植え前の土をかき回して柔らかくする仕事で、どろんこ遊びが大好きな舞鶴の子達にぴったりの作業です。ところの土の上で、走ったり転んだりそりで滑ったり、充分に遊んで作業を楽しみました。そしてその一週間後、田植えを行いました。全員で横一列に並び、少しずつ後ろに下がりながら植えていく辛抱のいる作業です。田んぼ仕事の大変さを身を持って知ることができました。

田んぼの回りは草むらあり、池ありのとても自然豊かな環境です。バッタ、ザリガニ、魚をとったり、探険したり、たっぷりと自然の中での遊びを楽しむことができました。



## 院長室を訪問し、和やかなひと時を過ごしました。

6月上旬、年長児25人が院長室を訪問しました。運動会やクリスマスなどの園行事でお会いする院長先生が、日常どのようにどこでどのようなお仕事をしているのかを知り、西南学院と早緑子供の園のつながりを感じることを目的として行う行事です。行事の際は直接会話をすることがないため、院長室訪問時には、「神様はどこにいるの?」「あれは何の絵?（院長室の絵画）『放蕩息子の帰還』」「何人兄弟?」など子ども達からのさまざまなお質問に、院長は丁寧にお答えいただき、和やかな歓談のときを持つことができました。そして、子ども達は、いつも守つてくださる院長先生に感謝の意をこめて、花の日礼拝で持ち寄った花と、手作りカードを贈りました。



## 「さみどりこどもまつり」を開催。



7月11日に開催された「さみどりこどもまつり」は、西南学院フェアの一環として、夏の夕暮れのひと時を家族で楽しみ、子どもや保護者同士で親睦を深めることを目的とした手作りのおまつりです。参加者は、全園児、保護者、卒園生、そして地域の方々です。子ども達が協力して取り組んだ手作りみこしや踊りの披露に続き、園と保護者会が店を開きをして、早緑の給食室で作った評判のやきそばや冷たい飲み物、おもちゃコーナーなどで、子ども達も自ら買い物体験をしました。また、1~2歳の幼い子どもも楽しめるゲームコーナーや、保育士によるわらべうたの出し物などでぎわい、最後に園庭にてお父様による盛大な花火が上がりて会場は大いに盛り上がりました。

在園児や保護者はもとより、子ども達が事前にボスターを作つて地域にもお知らせしていたことで、卒園生は早速に帰り楽しみ、地域の方々は西南学院を知る良い機会となりました。



◀ 西南オリジナル  
ワイン

Alc/12% 720ml  
3,000円(送料・税込)

穏やかな渋みと酸味のフルーティな辛口で、トマトソースのパスタ等との相性抜群！透き通るような美しいルージュの色合いがグッド。



◀ 松の緑(焼酎)

Alc/25% 720ml  
2,000円(送料・税込)

美味しい鹿児島の水、厳選された芋。恵まれた素材を最大限に活かす極秘の熟成方法により、のどごし柔らかかな焼酎に仕上げました。



セナフィー ▶

バラ 134円  
箱6個入り 857円  
箱10個入り 1,429円  
(すべて税抜)

西新の名店、ストロベリーフィールズとのコラボ商品！お土産、おやつにどうぞ。



西南学院オリジナル  
オリーブオイル ▶

エクストラバージンオリーブオイル  
スパイシー(食用オリーブオイル)  
250ml 2,268円(税込)※送料は、全国一律540円  
オリーブは聖書にも登場し、地の七産物の一つと言われています。外箱には西南学院校歌、学院の歴史を紹介、ボトルには西南学院のロゴが入っています。



西南学院  
オリジナルビール ▶

3本入り1ケース 2,000円(送料・税込)  
ペールエール Alc/5%  
スタウト Alc/6%  
アンバーエール Alc/5%  
各330ml

聖書に登場する「一粒の麦」をネーミングし、ペールエール、スタウト、アンバーエールの3種類をセットにしました。



SEI NAN SUI(西南水) ▶

555ml 1本/100円(税込)  
西南学院大生がネーミングした、霧島山系に自噴するミネラル豊富な硬度150mg/lの天然水。  
売上金の一部は、東日本大震災の復興支援に充てられます。



他にもオリジナルグッズがいろいろ。  
詳しくは西南学院大学ホームページをご覧ください。

<http://www.seinan-gu.ac.jp>

西南学院 グッズ

検索

学院のフィールド  
FIELD OF SEINAN GAKUIN

西南学院東京オフィス



2013年1月の開設以来、学生、同窓生、教職員等多くの皆さんにご利用いただいている東京オフィス。立地も良く、西南学院の東京における重要な拠点として、新たな価値を創造しています。



◀ 利用学生の声

荷物預かりや証明書の発行をしてもらいました。居心地が良く、ホッとできる場所でした。(2014年度卒業・女性)

情報収集、WEBテスト、エントリーシート作成等でパソコンをフル活用しました。(2014年度卒業・男性)



同窓会支部やクラブのOB・OG会の会議など、同窓生の交流の場として活用しています。西南学院各学年のパンフレットや入学案内を提供。メディアを活用しての広報活動も展開しています。

● 情報の収集・発信拠点

西南学院講座 in Tokyo 開催

本学教員や外部講師を招いての公開講座や、著名人・有識者を招いての講演会を開催しています。これまでに、陣内孝則氏(俳優・西南学院高等学校卒業)、佐藤真海氏(パラリンピアン、名越康文氏精神科医)等を講師にお招きしています。

● 同窓生の交流の場

首都圏における就職活動支援

パソコン、就職関連書籍などを配置。更衣室にかかるスペースも設け、荷物の預かりができる。证明書(在学生対象のもの)の発行も可能。東京にいながら福岡にいる時のような安心感で就職活動を行うことができます。

快適な活動拠点として西南学院の“今”を発信。

オフィスのさらなる機能強化を。

▶ 主な活動

Topics!

西南学院ブランド向上のための情報発信強化のため、各界をリードする有識の方々より、多角的な視点から本学への提言をいたしました。「西南学院ブランディングサポートチーム」を発足しました。本学の知名度・認知度アップについて、具体的なアクションプランの立案・アドバイスをいただくとともに、実施内容についてご協力をいただいている。



西南学院 東京オフィス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー10階  
TEL 03-5220-3737 FAX 03-5220-3838  
E-mail:tokyo@seinan-gu.ac.jp URL:<http://www.seinan-gakuin.jp/>

Interview

開設から2年10ヶ月が経過し、東京オフィスを就職活動で利用した学生は1,000人を超える。『慣れない東京での就職活動は不安でしたが、居場所があつて助かりました』といふ声をよく耳にします。企業訪問の拠点や面接までの気持ちを落ち着ける場所として、東京オフィスの活動は、「西南学院講座 in Tokyo」実施や同窓生との交流等多岐にわたりますが、これまでの機能を発展させつつ、西南学院のブランド力を高めるための様々な取り組みを行っていきたいと考えています。



吉田 直史  
東京オフィス長

# 西南学院創立100周年記念募金事業

皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

2013(平成25)年7月から開始いたしました募金事業に対しては、保護者の皆さま、全国の同窓生および地域の企業の皆さまから多大なるご支援をいただきおり、心より感謝しております。

西南学院がこれからも社会に貢献できる人材を育成していくために、また、同窓生の皆さまの母校として、さらに発展していくために、今後も小学校、中学校・高等学校、大学の教育環境整備、西南学院全体としてのキャンパスグランドデザイン等を推進してまいります。

2015(平成27)年8月までにいただきましたご寄付は、約4億2千万円となりました。誠にありがとうございました。引き続き、広く皆様からのご支援をよろしくお願い申しあげます。

**募金事業、税額控除の詳細については、「募金趣意書」、「募金用HP」をご覧ください。**

**西南学院創立100周年記念募金** 検索 <http://www.seinan-gakuin.jp/bokin/>

## 募金目標額

募金名称：西南学院創立100周年記念募金

募金目的：西南学院創立100周年記念事業計画に要する資金調達のため

募金目標額：30億円 [事業費見込総額：172億円 自己資金総額：142億円]

募金期間：2013年7月1日から2017年3月31日まで(3年9か月間)

## 創立100周年記念募金対象事業

### ◆キャンパスグランドデザインの推進



大学新図書館(東側立面図) ※本パースはイメージであり、今後変更の可能性があります。

キャンパスグランドデザインの一つとして、大学新図書館の建設に着工しました。地上7階建てで、延床面積は約1万1,300m<sup>2</sup>、約180万冊を収容し、閲覧座席は約1,000席を予定しており、2017(平成29)年4月に利用開始となる予定です。

新図書館は、学院と地域を結びつける新たな「大学の顔」として、機能面では、「情報空間」「交流空間」「遊戯空間」「歴史空間」という4つの基本理念を基に、これまで有していた図書館の基本的機能をより充実させるとともに、近年求められている学習支援機能の強化を目指しています。

### ◆奨学金基金の創設

学生、生徒、児童、園児の修学を支援するために、創立100周年を記念して奨学金基金を創設します。

### ◆グローバル人材育成

グローバル教育の拡大、学部学生が海外留学できる環境を整備し、世界に貢献できる人材を育成します。

### ◆小学校、中学校・高等学校の施設設備・教育環境の充実

小学校および中学校・高等学校のグラウンドの改修のほか、教育機器を整備することにより、教育環境の充実を図ります。

(広報課T.S.)

編集後記

2016年に創立100周年を迎える西南学院。

これまで各園や各学校で広報誌に近いものは発行されてきたが、学院のスケールメリットを生かした回、学院広報誌を創刊するにあたって各同窓生に取材をお願いしたが、みなさま西南学院への感謝の気持ち、今後の期待を感じるものであった。西南学院への思いや愛情にあらためて感謝したい。西南学院で働くものとして、同窓生や社会の期待に応えられるように、取り組んでいくことをあらためて認識する機会となつた。

西南学院からのお知らせ

# 創立100周年記念事業

来年の創立100周年に向けて、西南学院ではこれまでにさまざまな事業を展開してきました。

これからも継続してイベント等を開催していく予定です。

西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ」を建学の精神として、教育・研究を行っています。これを基礎にして、西南学院は、「Impacting the World」を21世紀のテーマとして掲げています。このテーマには、西南学院で学び、教育・研究を実践する一人ひとりが、思いやりの心と先駆ける精神を持つ、地域、日本、そして世界に貢献できるようにとの想いが込められています。

グローバル化および多極化・不安定化の進展などにより、国際情勢は目まぐるしく変化し、社会経済情勢は一段と厳しさを増しています。西南学院が日本および世界を俯瞰し、貢献できる人材を輩出するために、世界の平和と安全の維持、国家間の友好関係の発展および社会の進歩、生活水準の向上などを目的とした活動に取り組んでいます。

今回のフォーラムでは、九州・福岡の地域において、国際連合の活動に造詣の深い方、学生・生徒や教職員、一般市民が、共に国際平和と国境なき医師団の活動に触れ、身近に感じることがその一助になると考えています。

今回、このフォーラムでは、九州・福岡の地において、国際連合の活動に造詣の深い方、学生・生徒や教職員、一般市民が、共に国際平和を考え、そのあり方を発信する機会になればと願っています。皆様のご来場をお待ちしています。

日 時：2015(平成27)年11月29日(日)  
14時00分～17時05分 ※入場無料  
会 場：西南学院大学チャペル  
基調講演：根本 かおる氏(国連広報センター所長)  
スピーチ：第17代高校生平和大使 城戸香音さん(西南学院高等学校3年生)  
パネルディスカッション  
パネリスト：  
星野 幸代 氏／国際連合人間居住計画(ハビタット)  
福岡本部(アジア太平洋担当)本部長補佐官  
久木田 純 氏／関西学院大学招聘客員教授。  
元国連児童基金(UNICEF)駐カザフスタン事務所代表  
1978年 西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業  
黒崎 伸子 氏／国境なき医師団日本 前会長  
<お問い合わせ>  
100周年事業推進室  
TEL:092-823-3186 FAX:092-823-3189  
Mail:sw100th@seinan-gakuin.ac.jp



他の創立100周年記念事業については、ホームページをご覧ください。



西南学院100周年記念サイト  
<http://www.seinan-gakuin.jp/100aniv/>



カラーバリエーション



中高大生デザイン版



小学生デザイン版

販売価格:2,980円(税込)

販売場所:西南学院大学 生活協同組合 購買部(西南会館1階)

ご購入に関するお問い合わせ:西南学院大学 生活協同組合購買部

TEL:092-841-2400 平日10:00～16:00

小学生デザイン版は3色です。詳しくはホームページをご覧ください。

西南学院グッズホームページ <http://www.seinan-gakuin.ac.jp/about/goods/goods1.html>

西南学院創立100周年記念  
学術フォーラム「国連デー in 西南学院  
(福岡から国際平和を考える)」